



「仲良し兄弟」 成人学校(水墨画)講師 宮澤 祐司 先生画

謹んで新春のお慶びを  
申し上げます

# 報 館 あ も り

発行所  
長野市立安茂里公民館  
電話 226-4059  
発行人 多田井 幸視  
発行月 5.7.9.11.1.3月  
(株) 信光社

「子どもの生活と学校・家庭・地域社会」をテーマに、現代社会の文化の在り方について話を聞きました。祖先から長い間培われてきた文化や知恵を、今の時代に引継ぎ、子ども達を見守れるのか。心

「子どもの生活と学校・家庭・地域社会」をテーマに、現代社会の文化の在り方について話を聞きました。祖先から長い間培われてきた文化や知恵を、今の時代に引継ぎ、子ども達を見守れるのか。心

第27回 杏の里文化講演会  
「子どもの生活と学校・家庭・地域社会」  
信濃教育会会長  
後藤正幸 先生

### 安茂里地区 世帯数と人口 (12月1日現在)

世帯数	9,069戸
総人口	21,071人
男	10,099人
女	10,972人



後藤正幸 先生

の縁側(子ども達の遊び場、お年寄りのサンルーム、雨の日に隣近所の方をお迎えする応接間等)の増築の必要性を説かれました。

過去の子どもの達のいくつかの行動事例紹介の中で、日本人の自然に他人を思いやる心や行動といった文化をいつのまにか失ってしまった。そうだとすると、親が子へ、またその子へと、親の考えや都合を押しつけた結果、日本の文化が少しずつ失われ、自分のまいた種が自分を悩ます悪循環となる。また親や先生が背中を押してくれた事により、大きな行動を成しえた事例を交え、問いかけられました。

「子ども達は未完の姿で完結している」との話があり、改めて子ども達に対する大人達の接し方、地域社会で子ども達を育てる環境作りのあり方を考えさせられる一日となりました。(文・住自協副会長 喜沼経夫)

## 杏 仁

今年の十二支は亥(じ)・イノシシ。新たな年にふさわしく子ども達で縁起の良いイノシシだが、近年盛んに人里への出没が伝えられ、田畑を荒らす有害鳥獣として駆除されることが多い。人間との関わりは古く、縄文時代の遺跡から骨が見つかるなど獣肉利用はされていた。また嘉永7(1854)年久保寺村ではイノシシ退治のために郡(ご)奉行所に願い出て、鉄砲一丁を借りて脅しに使ったと記している。▼それが明治以降急減していたものが、ここ二、三十年前から急増して田畑を荒らし、人家にまで出没し出した。山野の荒廃や耕作地放棄による環境変化からくるものらしく、行政も「いのか対策課」等を設置して取り組んでいる。山際にかけてのシシ垣に代わり電気柵を張り巡らし、平成29年には市内で880頭が捕獲された。若穂地区の野生鳥獣食肉加工施設でジビエ料理に活用されている。今年には中条地区でも処理施設が稼働する。▼そんな今年には「猪突猛進」の言葉通り、周囲のことや状況を考えず一つのことに向かって猛烈な勢いで突き進むだけでなく、政治・経済はもとより何事にも熟議の上で進められる年となることを願うものだ。

公民館運営委員会から⑥

学びを通じた  
まちづくりの拠点に

運営委員 布目 裕喜雄



今年四月から、長野市市立公民館のうち四

館で公民館を社会教育法の適用から除外し営利目的の利用を一部認める「長野市交流センター」がスタートします。三年間のモデル事業です。

地域からの「公民館で地域づくりにつながる物販ができない」、「放課後の学習の場として利用できない」との意見を受け、「多様化した住民ニーズを踏まえ、地域の拠点施設としてより地域活動に活用できるように利用上の制約を緩和することが適当である」との社会教育委員会議の答申を尊重し、物販や民間利用ができるよう公民館の利用制限緩和を図ることになったものです。

私は、地域づくりにつながる物販や放課後の子どもたちの学習の場を求める地域の意向等を踏まえ、学びを通じたまち

づくりの拠点としての役割を重視して公民館の役割を見直していくことは重要であると考えています。

しかしながら、交流センターでは、民間事業者への貸し出しは一時間当たり通常料金一八〇円の三倍、五四〇円で、一般的な民間の貸館料金に比べ格安になっていることから、研修会等をはじめ民間のセンター利用に拍車がかかり、結果として地域住民の利用が制限される事態に陥ってしまうことが懸念されます。

市議の立場もありますが、運営委員として、モデル的な取り組みを注視しつつ、安茂里公民館の将来を地域の皆さんと一緒に考えてまいりたいと思います。



親子の学びの場

児童センター・子どもプラザの紹介①

安茂里児童センター

安茂里児童センターでは、放課後の子ども達に安心と安全の場を提供するとともに、友達との関わりの中から心身ともに逞しく成長する様、また学業も向上するよう支えております。

安茂里児童センターは、安茂里小学校に通う一年生から三年生までの141名の内、88名が登録し利用しております。

学校から登館したときから30分程、学校の宿題をする時間を設け、その後は体育館でボール遊びや鬼ごっこなどで走り回っております。

その他一輪車が人気で華麗に走り抜ける姿が見られます。初めて一輪車に挑戦する子ども、一カ月もすると乗れる様になり、その後習得するテクニクにより、一級・名人・達人等の称号が与えられます。運動以外では、トランプやジグソーパズル、将棋も盛んにこなわれています。今年度は、耐震補強工事を大規模に施工しました。

それに合わせ、内部の改修も実施しました。

予算の都合もあって、すべて希望どおりとはいきませんでした。体育館の高窓が開閉式になるなど、厳しい夏も少しは緩和できそうです。

また、児童センターの子どもたちは、異年齢の遊び集団と同じです。逆に対立があつたり、日々生き生きとした生活が営まれております。



宿題風景

安茂里子どもプラザ

長野市は、「子ども・子育て支援事業計画」を策定、それに基づき「長野市放課後子ども総合プラン」を展開、長野市未来子ども政策課が母体となり、長野市社会福祉協議会が指定管理者として運営しています。

子どもプラザは平成23年から学校の空き教室を利用し、

保護者の就労等による留守家庭を対象に子どもたちが放課後の安心・安全に過ごせる場所として開設されました。

対象児童は、4年生・5年生・6年生であり、本年度からは有料化となりました。

平日は、14時から18時30分、土曜日(月1回)8時から13時30分、長期休み(8時から18時30分)まで、活動場所として3教室と体育館、校庭をお借りしています。

子ども達の「自立・自律」を軸として活動をし、宿題の時間、教室、体育館、校庭での遊びの時間、プラザとしての行事(夏祭り、工場見学、お楽しみ会など)を行っております。また、遊び道具(ボードゲームやカードゲームなど)、マンガや本なども充実させ、子ども達が楽しく過ごせるように環境作りに努めています。元氣いっぱいの子ども達に手を焼く場面もありますが、職員一同、お迎えの保護者の方々に、子ども達を無事にお渡しできるような心掛けていきます。



ゲームに夢中

地域公民館

だより④

差出北区の

公民館活動について

差出北公民館長

瀧澤 貴

裾花橋西側から小池新聞店さんまでの国道19号線の両側、杏花台の境からしなの鉄道線路までの約500軒が差出北区です。公民館役員は平均60才の男性4人+若いお母さん6人の総勢10人です。

主な行事を紹介します。最初は、安茂里地区スポーツの祭典。一般野球・マレットゴルフ・ソフトバレー等に出場選手・応援者が一体となり盛り上がりました。ソフトバレーは準優勝の荣誉に輝きました。

6月は日帰りバス旅行、中南信お城巡り。松本城では天守閣への急階段で皆さん疲れ場所選定の心配り不足で申し訳なく反省してます。8月の納涼祭は子どもから大人まで、屋台の焼きそば・

焼肉・綿あめ・ジュース・ビールで楽しく過ごし親睦も深まりました。

10月は差出三区(北・中・南区)マレットゴルフ会。12月は人権教育地区研修会。人権教育指導員の白田澄子さんを講師にお迎えし「認知症と向き合う」をテーマにDVDを鑑賞して研修。

最後の大きな行事とし世代間交流。地域皆様のご協力です。楽しく行われました。

最後大きな行事とし世代間交流。地域皆様のご協力です。楽しく行われました。



人権教育地区研修会

西河原公民館だより

西河原公民館長

三井 邦男

西河原公民館では地域の皆さまのご協力のもと、様々な行事を取り組む中で世代間交

流を深めています。

公民館役員は30歳代から40歳代が多く、女性も半数ほどを担っています。仕事、育児等で忙しい中、行動力あふれる体制となっています。

公民館行事として、5月の「安茂里スポーツの祭典」には各種目に多くの区民の皆さまに参加いただきました。8月には小路区の皆さまと二日間

間にわたる合同の「盆踊り大会」を開催しました。両日も雨が心配されましたが参加された皆さまの熱気で雨雲も

遠のき無事終了することができました。10月の体育の日には「マレットゴルフ&バーベキュー」を開催し、天候にも

恵まれ心地よい汗をかいたあとで焼肉を堪能していただきました。12月には「しめ縄作り&餅つき大会」を開催し、

長生会の皆さまのご指導のもと子供から大人まで新年に飾るしめ縄を作製しました。1月1日には「元旦マラソン」を地域の守り神である犀川神社を発着点にして開催予定しています。

様々な行事は年3回発行される「館報にしがわら」にて紹介され、地域の皆さまに共

有されていることと思います。これからも世代間交流を深めるため活動していきたいと考えています。



マレットゴルフ&バーベキュー

園沖勢年団の活動

園沖公民館長

野村 憲司

園沖公民館には12のサークルが活動しており、そのサークルの一つに園沖勢年団があります。

団員は主に30代から50代の20数名で構成されており、活動内容は、公民館主催の行事を始めとし、自治会や育成会など、さまざまな行事において運営のサポートをするといった活動を現在行っております。

公民館行事では、主に園沖夏祭りの準備や小市4地区運

動会への参加、育成会行事では、どんと焼きの準備から片づけまで、その他、公園等の草刈り・区内の雪かきなど、区内の行事あらゆる場面で園沖勢年団の活動が、園沖区内にとつて、欠かせない存在となっております。更には、長野マラソンのボランティアとしても10年以上活動しており、先日、その活動の功績に対して、感謝状をいただきました。

2020年は園沖創立50年の大きな節目を迎えます。創立当初に比べると、少子高齢化が急速に加速している今日、お互いに助け合う心を忘れず、今まで先輩方々が築き上げてきた伝統を継承しつつ、次世代の園沖勢年団が先頭に立って引つ張り、区を盛り上げていければと思っております。



区内雪かき出動

# 公民館講座 の紹介

## なかよし広場

年6回の「なかよし広場」は庄村光子先生のもと、地域在住の未就園児の皆さんに気軽に参加いただいで、お母さんや友達と楽しく遊んだり飛び跳ねたりして、大勢の友達との触れ合いが深められる広場です。絵具を使ったお絵かきやミニ運動会、アンパンマンごっこにクリスマス会など、家庭だけでは体験できない楽しいこといっぱいのお会です。「まだ歩けないけれど参加させていただき、お兄ちゃんや



サンタさんと一緒に！

お姉ちゃんと触れられ良い刺激になりました。」「こうした集まりに来て、楽しそうな姿が見られて良かった。まだ自分中心で勝手に動いているが、少しずつ落ちついてきたらいいなあ。」等、お母さん方からも参加して良かったとの声をお聞きしています。集団生活が始まる前のお子さん達が伸び伸びと遊べる広場に、多数ご参加下さい。

## 煙と親しむ(煙製編)

以前は焚火に風呂焚き、囲炉裏に炭焼きなど生活に密着していた煙ですが、最近では煙と親しむ事も少なくなりました。そこで昨年から煙製作を通した煙と親しむ講座を企画し、ベーコンやソーセージ、スモークチキンなど生肉に味付けをして煙にかける煙製作りを始めました。チーズやかまぼこなどの簡易煙製ではなく、生肉の漬け込みに時間がかかるため2回に分けた行程もあります。初めて体験する方も多く、羊腸にひき肉を詰め、燻煙をかけて出来上がった手作りウインナーソーセージの味は、また格別です。



長く伸びたソーセージ

調理室のテーブル数の関係で定員制限がありますが、来年も新たな燻製に挑戦です。

## 〈お詫びと訂正〉

前号、第18回安茂里地区囲碁将棋まつりで、将棋の部優勝者の庄村俊一氏は庄村俊二氏ですので、お詫びし訂正します。

## 平成30年度 安茂里地区 人権を考える住民の集い

日時 1月12日(土)  
午後2時～  
場所 安茂里公民館  
講師 長野市立長沼公民館  
館長 宮澤 秀幸 先生  
テーマ「太鼓の中から歴史が見えてくる  
〜太鼓つくりと  
被差別民家〜」

※皆様のご参加お待ちしております。  
※

豊かな生活育てましょう  
安茂里公民館226-4059

## 生活文化講座

### ◎安茂里の歴史・文化を訪ねて

～大門の数珠回し～

日時 2月2日(土)

定員 20名

申込 1月11日(金)

◎楽しく歌おう愛唱歌③

日時 3月8日(金)

定員 100名

申込 1月10日(金)

安茂里地区にお住まいの方

2月8日(金)

その他地区にお住まいの方

2月15日(金)

なかよし広場

◎楽しく遊ぼう⑥

「お正月遊び」

日時 1月16日(水)

定員 20名

申込 1月13日(水)

◎時代の見方・考え方②

日時 2月13日(水)

定員 20名

申込 1月30日(水)

杏の里教室

日時 2月13日(水)

定員 20名

申込 1月30日(水)

定員 20名

## 第43回 囲碁将棋大会について (地区対抗戦)

日時 2月3日(日)

受付 午前8時30分～

開会 午前9時～

場所 安茂里公民館

昼食 600円

(参加者負担)

申し込み期限は

1月18日(金)まで

※各地区公民館長がとり

まどめていきますのでお

問い合わせください。

## 平成31年度 安茂里公民館利用者説明会のご案内

日時 2月6日(水) 午後2時～  
場所 安茂里公民館 2階集会室(ホール)

平成31年度に安茂里公民館および小市分室の利用を希望しているサークルの代表の方はご出席ください。